

令和4年度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



YURIKAGO 通信

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 《7月号》

R4. 6. 24 東京ゆりかご幼稚園



田植え後の棚田

「自発的な活動としての遊び」を大切に...

新年度が始まりもうじき3ヶ月。日々の遊びや活動も充実し、クラスの友だち同士の関わりも徐々に深まりをみせています。また、園庭では他のクラスや学年の子と一緒に遊ぶ機会も増え、年中・長さんが年少さんに遊び方を教えてあげたり、逆に小さな子たちがお兄さん、お姉さんの遊びを見て真似をして覚えるといった縦の関係性の広がりも見られます。こうして子ども同士が気づき合い、刺激し合い、学び合う関係を大切にしていきたいと考えています。



幼児は「遊びや生活」を通して学び、成長していきますが、「遊び」にも様々な種類があります。幼稚園では「幼児の自発的な活動としての遊び」を十分に確保することが必要とされています。それは、遊びにおいて幼児の主体的な力が発揮され、生きる力の基礎ともいえるべき「生きる喜び」を味わうことが大切だからです。遊びの中で能動的に対象に関わり、自己を表現し、そこから外の世界に対する好奇心が育まれ、探索し、物事を思考し、知識を蓄えるための基礎が形成されていきます。

つまりは、子ども自身が「やりたい!」と思える「自発的な活動としての遊び」が幼児の発達にとってより望ましく、生きる力に繋がりがやすいということです。そして、私たち幼稚園教諭の役割は、遊び方や解決の方法を教える人ではなく、子どもたちが遊びや活動に託した思いを、子ども自身の考えや方法で実現できるように、共に考え、悩み、かたわらにいてそっと手助けしてあげることだと考えています。

クラスのドキュメンテーションでも様々な遊びや活動を紹介していますが、保護者の皆様にもこうした視点をご理解いただけるよう、これからも工夫してまいります。

(引用: 文部科学省「幼稚園教育要領解説」)

<自発的な活動としての遊び>

●年長が夢中になっているドミノ倒し。子ども同士で試行錯誤し、日々遊びを生みだしています。



お部屋の積み木で。園庭の大きな積み木で。「坂にしてみよう」「曲げてみよう」「ブロックを縦に挟むと壊れないよ! (転倒防止ストッパー)」「ブロックにくっつけると、丁度良い間隔だ!」



「テラスに並べたらどこまで行く?」「やった、成功!!」「今度はもっと長くしたいね。職員室やホールまでとか(100~130m)。でも材料がないよ。何か使える物は? ティッシュの箱は? 家から持ってくる? 他の遊具は? 年少さんが壊しちゃうかな? お部屋にいてもらったら? でも出られなくなったらかわいそうだよ。やる時だけ伝えてあげたら? やさしく教えてあげないとね…。年長さんしかいない時にやったら…。!!」

(30分間の白熱会議でした。こうした姿が「主体的、対話的で深い学び」へと繋がっていきます。)

日曜参観

日曜参観には保護者の皆様にお越し頂き有り難うございました。青空の下、学年ごとに、お子様との時間を楽しんでいただけたことと思います。また、毎日園庭で遊び活動する様子の一端を感じていただけたら幸いです。子ども達もお父様やお母様と素敵な時間を過ごすことができ、次への成長のステップとなりました。



盆踊り

夏祭りが近づき、園庭では子ども達が盆踊りの曲に合わせ元気に踊っています。また、七夕飾り等の制作も楽しみながら、当日への期待を高めております。今年度も、学年ごとに、年少・中は盆踊りを、年長は盆踊りとみこし担ぎを、保護者の皆様にご覧いただきます。



交通安全教室

南大沢警察署の方にお越し頂き、園庭で交通ルールについてお話を聞き、歩行訓練を行いました。年長さんは就学前ということもあり、幼稚園正門前の横断歩道で一人一人に指導いただきました。送迎の際も、どうぞお子様と一緒に安全確認をお願いいたします。



水遊び&プール

20日にはプール開きが行われ、安全に水遊びを楽しむことができるようお約束を確認し、水の神様にお祈りをしました。そして、いよいよ水遊びも本格的に！園庭のスプリンクラーやホースシャワー、小川や池、砂場や築山なども使って、色々な場所で水遊びを楽しんでいます。プールは文科省の通達に従い、分散しながら距離をとり行っています。



カイコ ゴマ粒より小さかった卵が孵化し、1ヶ月が過ぎ約**1万倍**の大きさに生長しました。そして全クラスでカイコの飼育と観察が始まりました。子ども達が園庭の数カ所に自生する桑の葉をとり、カイコにあげては食べる様子を観察しています。また担任と一緒にカイコのお部屋を掃除したりと、毎日お世話をしながら仲よくなってきました。「家蚕」という字の通り、まるでペットのように可愛がり「かわいい」といって手にのせる様子がみられます。もう少しするとカイコは糸を吐き繭（まゆ）を作り始めます。

小学校でもカイコの飼育が行われるかもしれませんが、幼児期にカイコに触れることも大切。「知識を得る」より先に「触れ合う体験」を持つ事...幼児期ならではの原体験です。



お部屋のかいこ



触れるようになった



桑の葉を食べる様子を観察



虫眼鏡で観察。



桑の葉をとり



葉の水を拭き取る。



職員室のカイコ！

年少 フィンガーペインティング

粘土板にいろいろな色の絵の具を混ぜ合わせて、指や手で模様を描きながらフィンガーペインティングを楽しみました！ その感触と色の変化に大喜び！汚れた後は水遊びを思い切り楽しみました！



年少 タヌキさんの歯磨き

歯の衛生週間のある6月。歯科検診もがんばりました！お部屋では、虫歯になったタヌキさんのために大きな歯ブラシで歯磨きをしてあげました！ピカピカになった歯に大喜びのタヌキさんは御礼の手紙をくれました。そこには森への招待状が！今度みんなで会いに行きましょう！



年中 麦の収穫

棚田で、年少の11月から育ててきた麦がようやく収穫の時期を迎えました。鎌で刈り取りテラスに干し、脱穀し、唐箕をかけ、石臼で挽き、小麦粉にします。さてクッキングでは何を作りましょうか？ お楽しみに。



年中 タマネギ収穫から観察画

畑で丸々と太ったタマネギを収穫し、観察画を描きました。子ども達が描くと、タマネギにも色々な表情があるのがわかりますね！タマネギはカレーパーティーで使用します！



年長 田植え

種籾から育てた稲が育ち、田植えの時期を迎えました。代かきで滑らかになった泥に、一株一株丁寧に苗を植えました。手間ひまをかけて美味しいお米を作ります！



グミ、クワの収穫

グミとクワの実が成り、年長さんが収穫して旬の味を楽しみました。「あまーい！ すっぱーい！」といろいろな声が聞かれました！



モリアオガエル発見！



皆さん「モリアオガエル」をご存じですか？ 絶滅危惧種であったり、国の天然記念物に指定される地域もあるほどめずらしいカエルです。なんとこの蛙さんが、ある朝、幼稚園のテラスに座っていました。ちょうどその日の朝、園長がお店で買ってきたカエルの石像をカエル池などに設置したところでしたので、更にびっくり！「ひょっとしてカエルの神様の遣いですか？」と思ったほど。

現在、職員室でお預かり（？）していますが、暫く様子を観察して園庭にお帰りいただく予定です。

ところで、子ども達が餌を心配して様々な虫をみつけては持ってきてくれます。この日は年長さんがキリギリスを。しかし、そこで「キリギリスがかわいそうだよ！」「いやカエルの方がかわいそうだよ」という論争が起きます。自然界では生態系ピラミッドの中で日々繰り広げられていることですが、子ども達の言葉に「共に尊い命」であることを感じさせてくれます。

「命をありがとう」、、、気持ちを込めてケースに入れていました。

アクティブラーニングのいろいろ

園では、遊びや生活を通して「主体的、対話的で深い学び」につながる様々な場面があります。

●年長のサマーキャンプに向け、キャンプでやりたいことを考え、意見を出し合う。

（「サマーキャンプ会議」と題したポスターに書き込む様子）



●ムササビについて分からないこと、知りたいことをポスターに貼り、みんなで共有。これをムササビ博士の岡崎先生に質問！



●運動会のリレー会議

「どうしたらチームが勝てるようになるな？」



●棚田のかかし、どうやって作る？ 材料はどうする？

